

住まいの頁版

2019年12月
December



※ぐーっと寒くなりましたねえ☺「冬至とクリスマス」でポカポカに…※

「冬至」(12月21日)

冬至は、一年で太陽が最も南寄り、昼の時間が最も短い日。太陽の昇る高さが最も低くなるため、必然的に日没が早くなるわけです。



これを逆に言うと、この日を境に翌日からは日が徐々に長くなっていくということなので、冬至は太陽の力が一番弱まった日であり、この日を境に再び力が甦ってくる、すなわち、冬至を境に運が向いてくるとし、古くから祝祭が盛大におこなわれていました。

「陰が極まり再び陽にかえる日」という意から、「一陽来復(いちようらいふく)」という言葉が生まれ、転じて、悪いことが続いたあとに幸運に向かっていくこと、冬が終わり春が訪れることを意味します。

冬至は柚子湯に入る!

冬至といえば柚子(ゆず)湯! この日に柚子湯に入ると風邪を引かない、と言われていました。この由来には、「融通がきくように」といった語呂合わせや「冬至と湯治をかけた」など諸説がありますが、もともと柚子には体を温める効果があります。柑橘系の香りも心地よく、お風呂で温まりながら、ゆったり、リラックスするにはもってこいですね!

柚子は香りも強く、強い香りのもとには邪気が寄ってこないという考えもあることから、端午の節句の菖蒲湯同様、匂の香りの強いもので邪気を払う儀式とも言えます。また、柚子は実るまでに長い年月がかかるため、長年の苦勞が実りますように、との願いも込められているようです。

▶▶子どもと楽しむ「柚子湯」

今年の冬至には柚子湯に挑戦! 3通りのやり方をご紹介します。



そのまま柚子を丸ごとお風呂へ: 1個や2個では香りを感じるほどにはなりませんので、せっかくならばたくさんお風呂に浮かべて香りを楽しみましょう。

輪切りや半分にカットしてお風呂へ: 香りもよく、成分も出やすい方法です。が、だんだんグシャグシャになってきて果肉や種がお湯に浮いてくるため、その後のお掃除が大変になるかもしれません・・・。

輪切りや半分にカットした柚子を、袋に入れてからお風呂へ: ガーゼなど目の細かい布などで袋を作り、中身が出ないようにすれば、柚子が見えないのは残念ですが、香りや成分も出やすくお掃除もラクラク! 洗濯ネットを使ってても!

建築用語

【割り肌(わりはだ)】

石を割ったままの面を、そのまま仕上げとすること。主として硬い石に使う。



季節のお手入れ 【12月】

大掃除は、各部の点検をあわせて行ってください。前もって計画をたてておくと、スムーズにいきましょう。



ローラーで塗る漆喰「しっくのん」

【薬仙石灰の「しっくのん」】

～塗ったその日から快適空間が広がります～

内装用漆喰塗料「しっくのん」は、調湿性に優れ、カビ・ダニの発生を抑えます。

また、攪拌後すぐに使用できるので、経験の無い方でもローラーや刷毛で簡単に施工できます。クロスの上からも塗れるので、DIYに最適の壁材です。

1.作業性

従来の漆喰壁は、現場にて左官職人が材料を調合し、コテで仕上げていました。

しっくのんは出荷段階で全ての材料を調合している為、攪拌後すぐに使用することが可能です。施工には、ローラーと刷毛を使用します。

2.調湿性

主原料である消石灰により塗膜が多孔質となりますので、湿気の吸放出性に優れ、室内の結露防止にも効果があります。

3.耐火性

従来の漆喰壁と同様に耐火性に優れています。

「クリスマス」(12月25日)

今では子どもたちが一年で最も楽しみにしているシーズン、イベントかもしれませんね! おそらく多くのお子さまにとっては、「クリスマスはサンタさんがきて、プレゼントをくれる!」という嬉しい日。

クリスマスとプレゼントの関係

12月25日は、キリスト教では、イエス・キリストが約2000年前にベツレヘムの馬小屋生まれた日、ということになっています。そしてキリストが誕生した際に、賢人がキリストに贈り物をしたという説があり、クリスマス=プレゼントにつながったのではないかとされています。東方の三賢人(ガスパール、メルキオール、バルタザール)がキリスト誕生の際に贈った物とは、金、乳香、没薬だったのだとか。

この日にプレゼントを贈ることは愛情の証として、古くは、貴重だったオレンジやささやかなお菓子などから、今ではおもちゃやゲーム、玩具など、プレゼントを贈る習慣が根付いたようです。



日本でのクリスマス

日本でクリスマスが広く受け入れられるようになったのは、1900年(明治33年)に明治屋が銀座に進出したことを契機に、クリスマス商戦が始まったといわれています。

なぜ、靴下?

クリスマス飾りの定番でもある、靴下。サンタさんからのプレゼントをもらうために、枕元に靴下をつるしておく、というイメージがありますが、ツリーのオーナメントや装飾グッズとしても靴下モチーフのものが多数あります。でも、これも、なぜサンタさんが靴下にプレゼントを入れてくれる、ということになったのでしょうか? これには、サンタクロースの起源となったストーリーと密接な関係を持った背景があるようです。



サンタクロースの起源となったのは、聖ニコラウスの伝説。彼は4世紀ごろの東ローマ帝国は小アジア南西部に位置するミラ(ミュラ)の、司教だった人物です。

聖ニコラウスは、日頃から困った人や貧しい人を助け歩いた慈悲深い人物であったようですが、ある日彼は、貧しさのあまりに三人の娘を売り飛ばすことを考えている一家の存在を知ります。そして真夜中にその家を訪れ、金貨を投げ入れたのだそう。そのとき暖炉には靴下がさげられており、金貨がちょうどその靴下の中に入っていた、ということから、「サンタクロースが真夜中にプレゼントを靴下に入れていく」、という習慣ができたようです。

また、オランダでは子供たちが寝静まった証としてベッドに木靴を並べる、という風習からきている、という説も一部にはあります。



株式会社 鈴木住研

TEL 042-424-1449 FAX 042-424-1446

E-mail info@suzukijyuuken.com

ホームページ <http://www.suzukijyuuken.com/>

電話・FAX・メールにてお気軽に資料請求してください